

レベル：初級
領域：「領域共通」

2019 年度
一般社団法人日本臨床心理士会臨床心理講座

<認知行動療法の実際>

講座の内容：認知行動療法はうつ病や不安症に対して第一選択となる心理療法であることが知られていますが、ひとつの決まったやり方がある訳ではありません。「導入」「アセスメント」「ケースフォーミュレーション」を実践の核とし、個々のケースに最適な技法を用いて介入を行います。本講義では臨床現場でよく出会ううつ病や不安症などの事例を提示し、認知行動療法の実際を、初心者の方にも分かりやすくご説明したいと思います。また、認知行動療法の面接はセラピストとクライアントの「協同作業」で進められることも特徴の一つですが、認知行動療法を実践している方の中には、関係の構築がうまくいかない、中断したという経験がある方もおられると思います。そこで、クライアントとの関係の作り方やセラピストの感情とその機能についても取り上げます。ここでは今後の臨床に役立つツールとして、セラピスト側の面接課題の達成度を確認するためのチェックリストなどについてもご紹介をしたいと思います。

講師：大塚 明子 （ 心療内科病院 楽山 ）

日時：2019年9月8日（日） 10：30～16：30

場所：文京区本郷 2-27-8 ユニゾ本郷二丁目ビル2階 当会研修室
<http://www.jsccp.jp/center/access.php>

参加資格：臨床心理士・大学院生・ 定員50名

参加費：社) 日本臨床心理士会会員 5,000円
臨床心理士 (非会員)、 8,000円
大学院生 (臨床心理士資格未取得者に限る) 3,000円

ポイント：2

申し込み方法：社) 日本臨床心理士会WEBページよりお申込みください。

<受付手順> WEB申込で送信してください。
↓
受付けた旨をメールで返信します。
<手順の説明>
↓
受講料のご入金
↓
「受講票」を送信します。